

中期経営計画

(令和8年度～令和10年度)

2026年4月

公益社団法人おかやま観光コンベンション協会

【団体概要】

団体名	公益社団法人おかやま観光コンベンション協会		
代表者	会長 石井 清裕	資本金等	－
役員数	理事 18名・監事 2名 (うち外部理事 3、外部監事 1)	従業員数	74名 (R8.4.1 現在)
設立年月日	平成 9 年 6 月 4 日	会員数	正会員 339 (R8.4.1 現在)
所在地	岡山市北区厚生町 3-1-15	電話	086-227-0015
HP	https://okayama-kanko.net/		
所管課	岡山市産業観光局観光部観光振興課		
設置目的	岡山の文化的、社会的、経済的特性を活かしたコンベンションの常時開催体制の整備及び誘致を戦略的に推進するとともに、観光施設の整備運営、市民の観光意識の普及及び向上並びに観光客誘致宣伝事業の促進等によって観光事業の健全な振興を図り、もって地域経済の発展と市民の生活、文化の向上発展に寄与することを目的とする。		
事業内容 (定款)	・ 観光客及びコンベンションの誘致及び支援 ・ 観光及びコンベンションの広報及び宣伝 ・ 観光及びコンベンションに係る人材の確保及び資質の向上 ・ 観光及びコンベンションに関する調査研究、情報収集及び情報提供 ・ 地方公共団体等が所有する観光施設等の管理運営 ほか		

【基本理念】

岡山市の政策に基づき、本市の特性を活かした観光・コンベンション事業の推進をもって、地域経済の活性化と市民生活、文化の発展に寄与し、本市が掲げる将来都市像「わくわくする桃太郎のまち岡山」の実現に寄与する。

【基本方針】

- 市と協調した事業の推進及び職員の専門性を活かした事業の展開
- 観光・コンベンション関連業界との更なる連携強化による事業展開
- 人材の育成と安定的な法人運営

【趣旨】

岡山市の外郭団体として、岡山市の政策に基づき事業を推進すること、また自主性、自立性をもった経営をさらに進めるため、現状の課題や経営ビジョンなど将来像を明確にした「中期経営計画」を策定。職員と目標を共有することで、組織が活性化しワンチームとして取り組み、運営改善にもつなげていく。

【令和8年度以降の重点実施事業項目】

- 指定管理施設の安定的な運営及び施設を拠点とした地域の賑わい創出
- 観光誘客・コンベンション誘致に係る情報発信・プロモーションの実施
- インバウンド誘客プロモーションの強化
- 国際会議誘致プロモーションの強化
- 戦国宇喜多家気運醸成事業の展開
- 日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまちおかやま」を活用した事業推進
- 瀬戸内国際芸術祭、岡山芸術交流等の大規模催事を活用した観光誘客

【観光事業】

① 国内外の観光客誘致の推進

岡山市の歴史（日本遺産含む）、文化、伝統芸能、自然、物産、スポーツ等の観光資源の情報を収集し、国内外に発信・宣伝するとともに、岡山ならではのイベントの開催や市民のホスピタリティの向上に取り組み、地域の魅力、都市の知名度を向上させることにより積極的に観光客の誘客を図る。

② 観光施設の適正な運営と地域経済の活性化を図る

当協会が管理・運営する観光案内所や観光施設において、岡山市を訪れた観光客への「おもてなし」に積極的に取り組み、リピート客の確保や消費の拡大を通じ地域経済の活性化を図り、もって地域社会の健全な発展に資することを目的に各施設の管理・運営及び各種事業を実施する。

③ 指標及び目標

【指標1】 岡山城天守閣の入場者数 (単位：人)

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	440,000	448,000	457,000
実績			

【指標2】 たけべ八幡温泉の入浴者数 (単位：人)

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	89,000	90,000	91,000
実績			

【指標3】 足守プラザの体験者数 (陶芸・木工) (単位：人)

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	3,370	3,460	3,550
実績			

【指標4】 岡山城備前焼工房の体験者数 (単位：人)

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	4,000	4,250	4,500
実績			

【MICE 事業】

① 産官学連携による MICE 誘致・開催促進と国際化の推進

岡山市・当協会・OCC（㈱岡山コンベンションセンター）を中心に、岡山大学や MICE 関連事業者等との産官学連携を強化し、地域での MICE 開催と国際会議の誘致を推進する。これにより、地域経済の活性化と都市の国際化を図る。

② コンベンション情報の収集・発信と誘致活動の強化

コンベンション情報の収集・発信、主催者支援を岡山市・OCC と連携して進め、開催件数と参加者数の増加を図る。併せて、学術・医療・産業など岡山の強みを活かした誘致活動を強化し、持続的な MICE 需要の創出につなげる。

③ 岡山市の特性を活かした MICE 推進による地域経済効果の拡大

「C+観光で更に1泊」「M・I・E+観光で岡山へ」等、岡山市の特性を活かした MICE 誘致を進めることで、参加者数と宿泊客数の増加を図る。

④ 指標及び目標

【指標1】国際会議の開催件数（JNTO 国際会議統計基準）（単位：件）

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	23	25	27
実績			

【指標2】コンベンション開催件数（当協会基準）（単位：件）

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	288	289	290
実績			

【指標3】コンベンション参加者数（当協会基準）（単位：人）

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	140,000	146,000	153,000
実績			

【法人（総務）】

① 法改正等による円滑な運営移行

- ・社会的変動に伴う改正法令、また協会規則・規程改定を円滑に進め、法令順守を徹底する。

② 多様で柔軟な働き方改革と労務管理の徹底

- ・ワークライフバランス等を背景に、時差出勤の活用や有給休暇の取得義務の徹底、また職員の健康維持、働きやすい職場環境の整備、衛生管理や産業医との連携を行う。
- ・残業・休日出勤等、労務管理のチェックを行うなど長時間労働での過労を防ぐとともに、定年延長などによる高齢者の活躍や、女性の活躍の推進を図っていく。

③ 安定的な財政運営

- ・物価高や不安定な社会情勢が続く中、コスト管理の徹底と収益力の強化が必要であり、外部環境の変化に柔軟に対応しつつ、支出の見直しと効率化を進めるとともに、会費収入、自主事業等の増収への新たに取り組みを進めるなど、持続安定的な経営基盤の確立を進める。

④ 人材の確保と育成

- ・人材不足が深刻化する現状で、会社の持続的な成長には人材育成の重要性がこれまで以上に高まっており、特に若手職員の育成は、将来の組織を担う中核人材を確保するうえでも欠かせない。また職員の定着率向上や組織の活性化といった効果も期待できるため、職員が成長を実感できる育成環境を図る。
- ・現地だけではなく、オンラインを活用した研修会や意見交換会、セミナー等も含め、職員の専門的な知識と意識向上などを目的に積極的に参加していく。

⑤ 指標及び目標

【指標1】 職員の各研修・セミナー等への参加人数（単位：人）

区分	R8年度	R9年度	R10年度
目標	120	125	130
実績			